

「お話を 読む」④

なまえ

③のつづき

しかし、町に すんでいた 一人の
男の子が、ねこの かなしむ ようす
を見て、かのじよを たすけることを
けつい しました。

かれは、ピンク色の ふわふわの
毛糸をつかって、ねこのために うつく
しい しっぽを 作ったのです。

ねこは、男の子の やさしさに かん
どうし、かれに かんしゃ しました。
そして、男の子といっしょに あそび、
かれを 新しい 友だちとして むか
え入れました。

ねこは、今回の 出来ごとから ひと
つの ことを まなびました。それは、
大切なものを うしなったことが、自分
に 新しい しあわせを もたらして
くれる ということです。

① 文と おなじ ないようの
きごうに ○を つけましょう。

ア 男の子は ねこを たすけた。すると、
ねこは かなしむ ようすを みせた。

イ 男の子は、やわらかくて きれいな
しっぽを つくった。

ウ ねこの あたらしい おともだち
は、おんなのこ である。

② ねこは、どんなことを まなびましたか？

ア あたらしい おともだちと あそぶ
たのしさ。

イ たいせつなものを なくしたこと
が、あたらしい しあわせに つな
がっている ということ。